

■ 応用 解答

▶ Lesson18

①

- ① セル【F3】に「=TODAY ()」と入力

POINT !

「=」に続けて英字を入力すると、その英字で始まる関数名が一覧で表示されます。一覧の関数名をクリックすると、ポップヒントに関数の説明が表示されます。一覧の関数名をダブルクリックすると、自動的に関数が入力されます。

②

- ① セル【C22】をクリック
② 数式バーの  (関数の挿入) をクリック
③ 《関数の分類》の  をクリックし、一覧から《検索/行列》を選択
④ 《関数名》の一覧から《VLOOKUP》を選択
⑤ 《OK》をクリック
⑥ 《検索値》にカーソルがあることを確認
⑦ セル【B22】をクリック
⑧ 《範囲》のボックスをクリック
⑨ セル範囲【H22:J28】を選択
⑩  を押す
⑪ 《列番号》に「2」と入力
⑫ 《検索方法》に「FALSE」と入力
⑬ 数式バーに「=VLOOKUP (B22,\$H\$22:\$J\$28,2,TRUE)」と表示されていることを確認
⑭ 《OK》をクリック

POINT !

セル【B22】に「商品コード」が入力されていないので、エラー「#N/A」が表示されます。「商品コード」を入力すると、「商品名」が参照されます。

POINT !

引数に「TRUE」を指定すると、データが一致しない場合に近似値を検索します。「TRUE」を指定する場合、参照用の表は、1番左の検索値を昇順に並べておく必要があります。

③

- ① セル【D22】をクリック
② 数式バーの  (関数の挿入) をクリック
③ 《関数の分類》の  をクリックし、一覧から《検索/行列》を選択
④ 《関数名》の一覧から《VLOOKUP》を選択
⑤ 《OK》をクリック
⑥ 《検索値》にカーソルがあることを確認
⑦ セル【B22】をクリック
⑧ 《範囲》のボックスをクリック
⑨ セル範囲【H22:J28】を選択
⑩  を押す
⑪ 《列番号》に「3」と入力
⑫ 《検索方法》に「FALSE」と入力
⑬ 数式バーに「=VLOOKUP (B22,\$H\$22:\$J\$28,3,FALSE)」と表示されていることを確認
⑭ 《OK》をクリック

POINT !

参照用の表のデータが横方向に入力されている場合は、「HLOOKUP関数」を使います。HLOOKUP関数を使うと、コードや番号をもとに参照用の表から該当するデータを検索し、表示できます。

④

- ① セル【C22】をダブルクリック
② セル【C22】の数式を「=IF (B22="","",VLOOKUP (B22,\$H\$22:\$J\$28,2,FALSE))」に修正
③  を押す
④ セル【D22】をダブルクリック
⑤ セル【D22】の数式を「=IF (B22="","",VLOOKUP (B22,\$H\$22:\$J\$28,3,FALSE))」に修正
⑥  を押す
⑦ セル範囲【C22:D22】を選択し、セル範囲右下の  (フィルハンドル) をセル【D27】までドラッグ

Lesson19

⑤

省略

⑥

- ① セル【F22】をクリック
- ② 数式バーの  (関数の挿入) をクリック
- ③ 《関数の分類》の  をクリックし、一覧から《論理》を選択
- ④ 《関数名》の一覧から《IF》を選択
- ⑤ 《OK》をクリック
- ⑥ 《論理式》にカーソルがあることを確認
- ⑦ セル【B22】をクリック
- ⑧ 「B22」に続けて「=」と入力
- ⑨ 《真の場合》に「」と入力
- ⑩ 《偽の場合》に「D22*E22」と入力
- ⑪ 数式バーに「=IF(B22=「」,「」,D22*E22)」と表示されていることを確認
- ⑫ 《OK》をクリック
- ⑬ セル【F22】を選択し、セル右下の  (フィルハンドル) をダブルクリック

⑦

- ① セル【F29】をダブルクリック
- ② セル【F29】の数式を「=ROUNDDOWN(F28*E29,0)」に修正
- ③  を押す

⑧

- ① セル【C18】をダブルクリック
- ② セル【C18】の数式を「=ROUNDDOWN(F30,-2)」に修正
- ③  を押す

①

- ① セル【H1】に「=TODAY()」と入力

②

- ① セル【C5】に「=DATEDIF(B5,\$H\$1,「Y」)」と入力
- ② セル【C5】を選択し、セル右下の  (フィルハンドル) をダブルクリック

③

- ① セル【G5】をクリック
- ② 数式バーの  (関数の挿入) をクリック
- ③ 《関数の分類》の  をクリックし、一覧から《統計》を選択
- ④ 《関数名》の一覧から《RANK.EQ》を選択
- ⑤ 《OK》をクリック
- ⑥ 《数値》にカーソルがあることを確認
- ⑦ セル【F5】をクリック
- ⑧ 《参照》のボックスをクリック
- ⑨ セル範囲【F5:F22】を選択
- ⑩  を押す
- ⑪ 《順序》に「0」と入力
- ⑫ 数式バーに「=RANK.EQ(F5,\$F\$5:\$F\$22,0)」と表示されていることを確認
- ⑬ 《OK》をクリック
- ⑭ セル【G5】を選択し、セル右下の  (フィルハンドル) をダブルクリック

POINT !

《順序》で「0」または「1」を指定します。「0」は省略可能です。

「0」は、降順(大きい順)で何番目かを表示します。

「1」は、昇順(小さい順)で何番目かを表示します。

④

- ① セル【H5】をクリック
- ② 数式バーの  (関数の挿入) をクリック
- ③ 《関数の分類》の  をクリックし、一覧から《論理》を選択
- ④ 《関数名》の一覧から《IF》を選択
- ⑤ 《OK》をクリック

基礎

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

第9章

応用

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

第9章

まとめ